

# ゼネラルパッカー通信

平成30年7月期(第57期)中間

2017年8月1日▶2018年1月31日



世界の品質を  
“包装”で守る



包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社

証券コード 6267

社 是 **創造と挑戦** — 感ずる、信ずる、行動する —

経営理念 わが社はずねに、独創的な技術を活かし、顧客の要請に応える高品質な『商品』を提供する。

ゼネラルパッカーは、包装システムの課題解決型メーカーです。

**GOT グループ**



**当社**

**包装機械**  
各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売

- 当社主力の包装技術
- ガス充填包装
- チャック付スタンドパウチ包装

**生産機械**  
食品製菓機械の製造・販売



オサ機械株式会社  
Since 1932

**当社グループのお客様 主要ユーザー**

工場

食品分野

化学分野

医薬品分野

その他

店舗



- スーパーマーケット
- コンビニエンスストア
- ドラッグストア
- ホームセンター等

病院



**食品分野**

キャンディ ナッツ類 お米・米菓  
パン粉 小麦粉 ドリップコーヒー  
花かつお お茶 チョコレート  
ふりかけ かち割り氷 健康食品

**化学分野**

粉末洗剤 肥料

**その他**

ペットフード 野菜・花の種

**医薬品分野**

輸液パック カテーテル 粉末薬品

- 魅力1 卓越した技術力**
- 魅力2 優れた人材**  
新たな包装技術の創出を進めつつ、汎用性の高い製造技術を蓄積。また、全従業員のうち 1/3 が開発部および技術部に所属、トータル人事システムに基づき、業界認定によるスペシャリストを育成しています。
- 魅力3 既存分野での高いシェア**  
小麦粉、かつおパック、かち割り氷など、多くの分野でのトップシェア獲得が安定した収益基盤につながっており、当社は上場以来赤字がありません。また、オサ機械はチョコレート製造機械分野でトップシェア。  
▶ P9へ
- 魅力4 新規分野・海外分野への成長**  
新規分野の開拓による事業領域の拡大と海外マーケットでの成長を続けています。
- 魅力5 安定した株主還元**  
DOE 2%以上の安定配当を続けています。  
▶ P5へ

# 第5次中期経営計画

## 中期経営ビジョン

- 1 世界に選ばれ、信頼されるGPグループ
- 2 オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
- 3 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

## 基本戦略

### さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す

- 1 包装機械と生産機械の事業連携により、国内市場で安定的な収益と成長を確保する
- 2 販売体制を強化し、海外市場向け売上高比率 20% 以上を目指す
- 3 世界の包装ニーズにワンストップで応え、ソリューションビジネスのさらなる拡大を図る
- 4 メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発を強化する
- 5 生産機械から包装機械まで一貫したシステムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- 6 開発力強化と事業領域拡大のためのアライアンスを推進する

## 経営目標

	H32.7期目標
売上高経常利益率	6.0%以上
ROA (総資産経常利益率)	6.0%以上
ROE (自己資本当期純利益率)	8.0%以上

## 業績目標

	H32.7期目標
売上高	7,700百万円
経常利益	475百万円
当期純利益	320百万円

# 海外事業の拡大をめざして 販売体制を強化していきます。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ここに当社第57期第2四半期累計期間（平成29年8月1日から平成30年1月31日まで）の営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **牧野 研二**

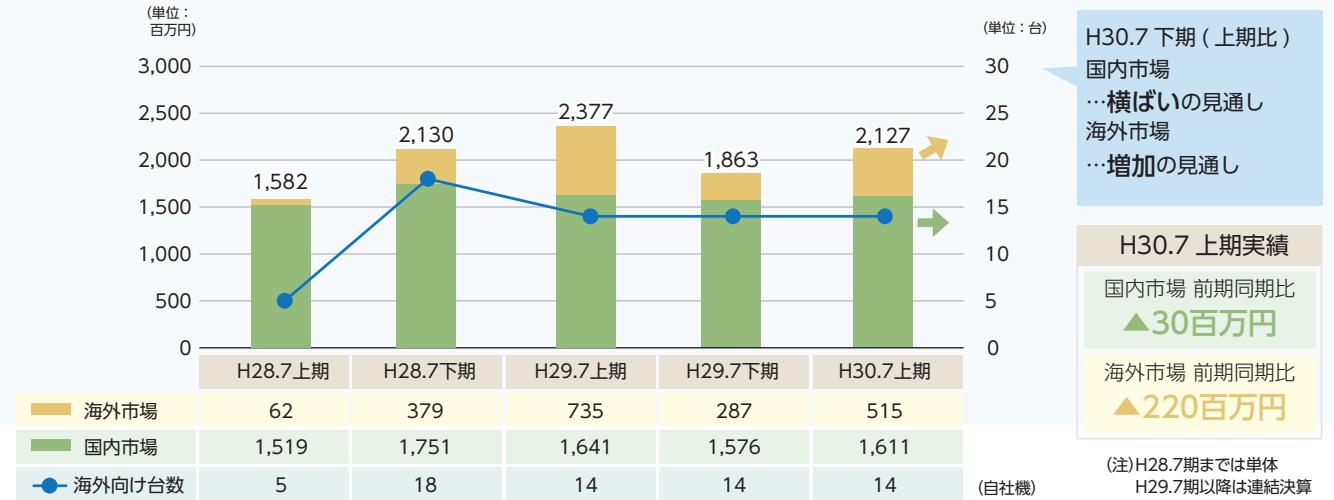


## 当期前半の事業環境と営業活動の成果

包装機械業界の事業環境は、国内の需要は堅調に推移しているとともに、輸出においてもアジア・北米地区向けが好調に推移しています。平成29年度の生産高は、業界全体で4,300億円を超え、8年連続でプラスとなる見通しです。品目分類においては、当社の主要対象市場である製袋充てん機は前年比1.4%減ですが、生産金額は高水準が続いています（経済産業省 生産動態統計より）。

当社の包装機械の業績においては、自社機品目の販売台数に関しましては前年同期比7台増加しましたが、高価格機種の減少により減収・減益となり、利益率は大きく低下しました。しかしながら上期機械受注高は、国内市場では食品業界向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。また、海外市場ではペットフード向けの増加により、前年同期を大幅に上回りました。

## 【包装機械】 国内・海外市場別売上高（エンドユーザー市場）



食品機械の業界の事業環境は、国内の食品機械需要は回復基調にあり、輸出は、アジア地区向けが減少基調で推移しています。平成29年の業界全体の販売額は、前年を上回る見通しとなっております。

当社の生産機械の業績においては、大型プラントの実績が減少したことから、売上高は減少したものの、国内菓子メーカーの大型の設備投資需要がある中で、大型プラントの受注を確保できたことから、上期機械受注高は、前年同期を大幅に上回りました。

## 第5次中期経営計画本格始動

当期からスタートした第5次中期経営計画（平成30年7月期～平成32年7月期）は、「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」を基本戦略に掲げています。また、3年間の計画期間を「連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期」と位置づけ、連結決算での利益率の向上と収益の拡大を図ることに

取り組んでいきます。

当期前半の包装機械海外市場向け売上高は、高額案件が減少したことから、前年同期比220百万円減少の515百万円、包装機械売上全体に占める割合は18.8%となりました。

海外事業の拡大につきましては、中国子会社での生産・アフターサービス体制の確立に取り組んでおり、中国子会社の当期前半の売上高は140百万円となりました。販売体制の強化につきましても、既存代理店の販売支援に取り組むとともに、ペットフード用包装機につきましても既存大手メーカーグループに加えて、他のメーカーの開拓にも取り組んでおります。

安定的な収益の成長と確保につきましては、メカトロハイスペック包装機の拡販に注力しており、受注は好調に推移しております。自社包装機の受注は、前年同期を上回りました。

## 当期後半の見通しと通期業績予想

当期後半の業績は、包装機械においては、売上高は海外市場が増加する見通しです。生産機械においては、当期前半に対して微減の見通しです。引き続き高額案件の受注を目指していきます。

通期業績見通しにつきましては、売上高67億円(前期比0.7%増)、営業利益240百万円(同18.4%減)、経常利益242百万円(同18.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益166百万円(同12.1%減)を見込んでいます。\*

\*通期の業績見通しは、平成29年12月1日公表の業績予想修正時の数値です。

## 株主の皆様へのメッセージ

今回の第2四半期末配当につきましては、予定通り1株当たり20円とさせていただきます。期末配当につきましては同20円、年間で40円を予定しております。

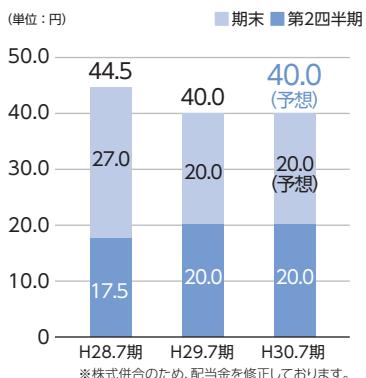
当社は食品や医薬品を安全・確実に包装する技術を通じて、より大きな社会的貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性に努めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

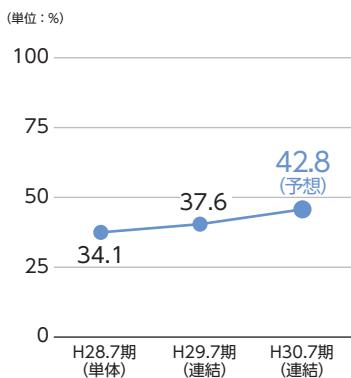
## 株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向 30%または連結純資産配当率(DOE) 2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指しています。

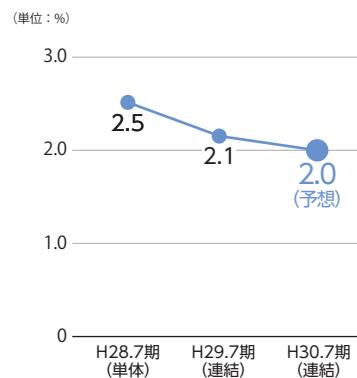
### 1株当たり配当金



### 配当性向



### 純資産配当率 (DOE)



## 特集

# JAPAN PACK 2017にて GP-M3000 SERIESが優秀賞受賞!



### GP-M3000 SERIES

- 特長1 高度なメカトロ技術で使やすく高効率
- 特長2 新型給袋装置 SPS 搭載
- 特長3 3分間アイテム変更

2017年10月に東京ビッグサイトで開催された「JAPAN PACK 2017 日本国際包装機械展」において、当社のメカトロハイスペック給袋自動包装機 GP-M3000 SERIESが優秀賞を受賞しました。次代の包装を担うフラッグシップ機として開発された同機は、ロボット動作にも使用されるモーションコントロール技術を採用。従来型機に比べ操作性・安定性・清掃性・安全性が飛躍的に向上しており、高い効率性を実現します。

同機は当社が第5次中期経営計画の販売戦略の一つとして打ち出している「【包装機械】国内市場でのメカトロハイスペック包装機の拡販と新規分野の開拓」を体現するモデルであり、市場でも高い評価を受けています。

また、同展示会には2016年に子会社化したオサ機械株式会社のチョコレートーフコーティングマシンTCC300も出品いたしました。当社は包装機械と生産機械の事業連携を推進しGOTグループとしてのシナジーを発揮することで、様々なお客様の声にお応えし幅広いソリューションを提供していきます。



## シリーズ情報

### GP-M3550を2018中部パックに出品

メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発として、当社は同調ジョーゴ搭載高速充填タイプのGP-M3550を開発。2018年4月18日より21日までポートメッセなごやで開催され

る「2018中部パック」に出品します。これからも当社はおお客様の生産性、品質向上に役立つソリューションを提案してまいります。

経営成績に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは海外事業の拡大、グループ会社間の事業連携強化に取り組んでまいりました。

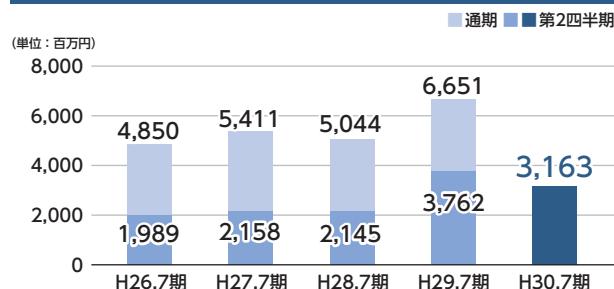
当第2四半期連結累計期間における売上高は3,163百万円（前年同期比15.9%減）となりました。利益につきましては、営業利益は63百万円

（前年同期比68.5%減）、経常利益は66百万円（前年同期比67.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円（前年同期比60.8%減）となりました。

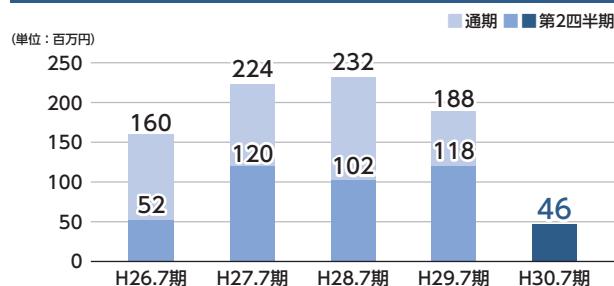
セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

包装機械事業は、売上高は2,734百万円、営業利益は59百万円となりました。また、生産機械事業は、売上高は431百万円、営業利益は3百万円となりました。

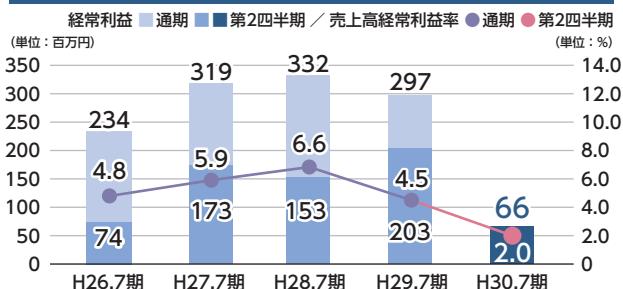
売上高



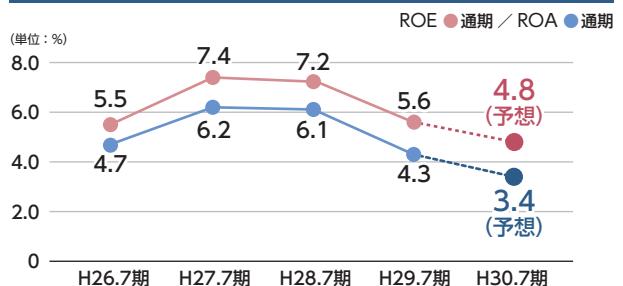
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



経常利益 / 売上高経常利益率

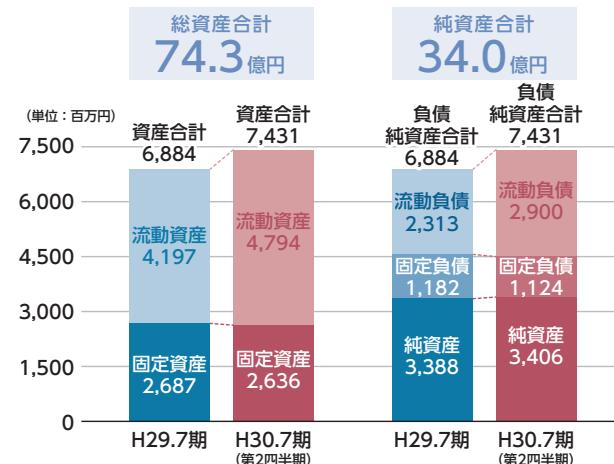


ROE / ROA

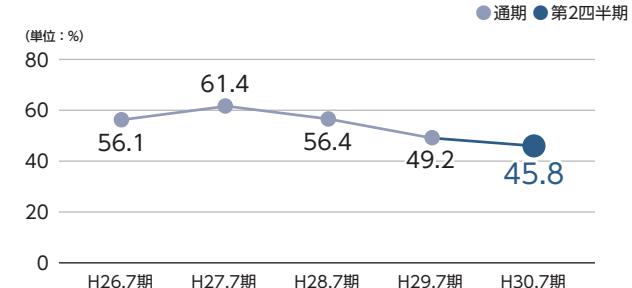


(注)平成28年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社化いたしました。そのため、平成28年7月期までは単体、平成29年7月期以降は連結決算となっております。

財務状況



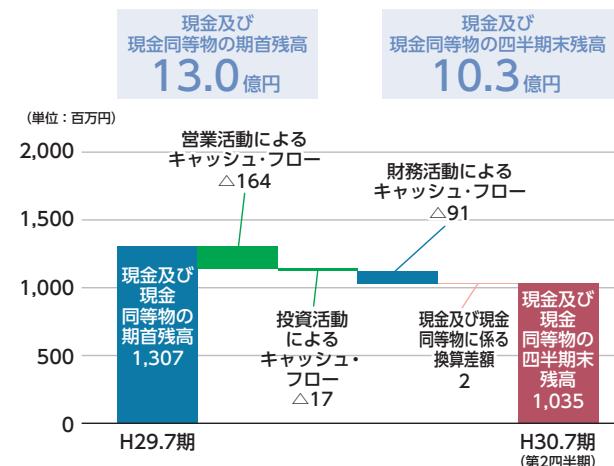
自己資本比率



財務分析

第2四半期連結会計期間末における資産合計は7,431百万円となりました。主たる要因は、現金及び預金が272百万円減少したものの、棚卸資産が400百万円、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が364百万円、それぞれ増加したこと等によります。

キャッシュ・フローの推移



キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ63百万円増加し164百万円となりました。収入の主な内訳は、前受金の増加額377百万円、仕入債務の増加額298百万円等であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額399百万円、売上債権の増加額300百万円、未収入金の増加額77百万円等です。

■包装機械

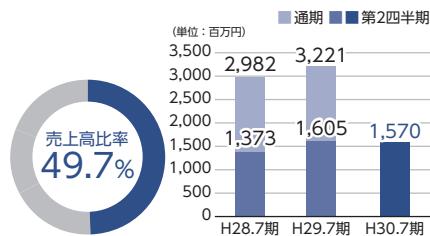


包装機械事業におきましては、製袋自動包装機の販売台数が減少したこと等から、売上高は2,734百万円（前年同期比10.7%減）、営業利益は59百万円（前年同期比75.0%減）となりました。

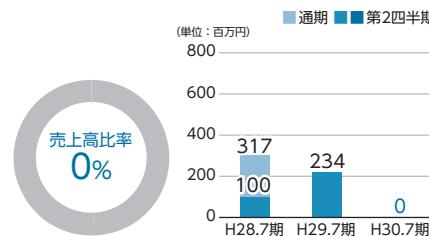
給袋自動包装機（ガス充填自動包装機含む）

製袋自動包装機

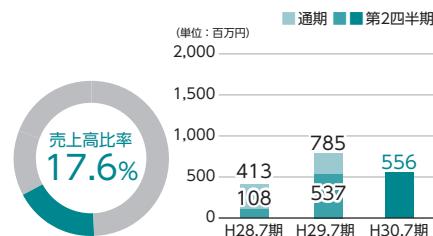
包装関連機器等



売上高 1,570 百万円 前年同期比2.2%減



売上高 0 百万円 前年同期比100.0%減



売上高 556 百万円 前年同期比3.5%増

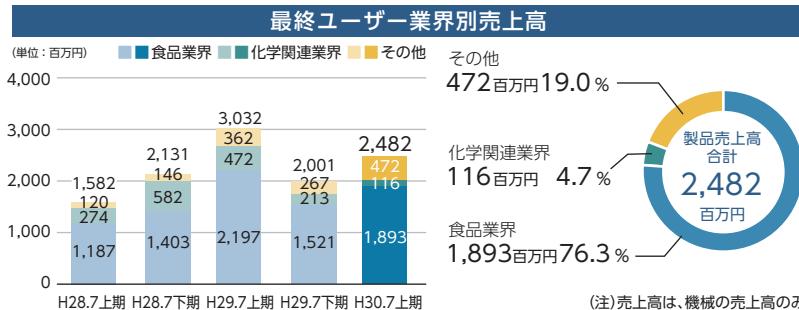
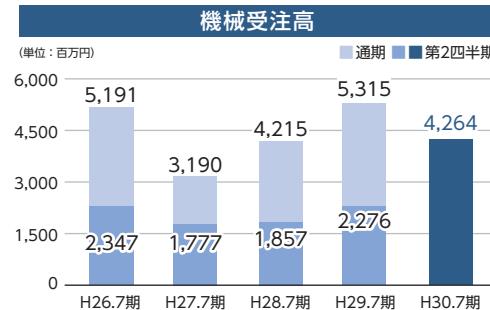
■生産機械



生産機械事業におきましては、大型のプラント案件の販売実績が減少したこと等から、売上高は431百万円（前年同期比38.5%減）、営業利益は3百万円（前年同期比91.6%減）となりました。



売上高 431 百万円 前年同期比38.5%減



(注)平成28年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社化いたしました。そのため、平成28年7月期までは単体、平成29年7月期以降は連結決算となっております。

■会社概要 (平成30年1月31日現在)

商号	ゼネラルパッカー株式会社	
英文社名	GENERAL PACKER CO., LTD.	
設立	昭和41年2月(創業 昭和36年12月)	
資本金	2億5,157万7千円	
事業内容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売	
従業員数	166名(連結)	139名(単体)
本社・工場	〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地 Tel.(0568) 23-3111 (代) Fax.(0568) 22-3222	
東京営業部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 神田木原ビル4F Tel.(03) 3256-3891 (代) Fax.(03) 3256-3893	
子会社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司	

■取締役及び監査役 (平成30年1月31日現在)

代表取締役社長	牧野 研二
取締役会長	梅森 輝信
取締役副社長	小関 幸太郎
常務取締役	鈴木 完繁
取締役	尾関 津義
社外取締役(監査等委員)	福井 義雄
社外取締役(監査等委員)	村橋 泰志
社外取締役(監査等委員)	浅井 一郎
社外取締役(監査等委員)	井土 信行

■株式の状況 (平成30年1月31日現在)

発行可能株式総数	5,600,000株
発行済株式総数	1,798,800株
株主数	474名

■大株主 (平成30年1月31日現在)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社ワイ・イー・データ	270,000	15.19
ゼネラルパッカー従業員持株会	246,200	13.85
MSIP CLIENT SECURITIES	81,400	4.58
株式会社りそな銀行	78,400	4.41
ゼネラルパッカー取引先持株会	78,200	4.40
高野 季久美	77,800	4.37
田中 かな	77,800	4.37
梅森 輝信	53,700	3.02
原 晋一郎	48,088	2.70
原 紳二郎	47,612	2.67

株主数構成比



個人・その他	株数	比率
個人・その他	434名	91.56%
その他法人	24名	5.06%
証券会社	8名	1.69%
金融機関	5名	1.06%
外国人	2名	0.42%
自己名義	1名	0.21%

株式数構成比



個人・その他	株数	比率
個人・その他	1,248,626株	69.42%
その他法人	340,680株	18.94%
金融機関	92,600株	5.15%
外国人	82,100株	4.56%
自己名義	21,469株	1.19%
証券会社	13,325株	0.74%

# IR サイトでも、詳しい情報を提供しています。

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

[http://www.general-packer.co.jp/ir\\_index.html](http://www.general-packer.co.jp/ir_index.html)

企業ホームページ  
最優秀サイト

日興アイ・アール  
新興市場ランキング

7年連続受賞

## 主なコンテンツ

### 経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR 情報などをご覧いただけます。

### 決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

1. 決算説明会
2. IR カレンダー
3. 個人投資家の皆様へ

### お勧め情報 ランキング

IR サイトの中から株主や投資家の皆さまのお役に立つ、当社お勧めの情報をランキング形式で紹介します。(不定期更新)



## 個人投資家の皆さまへ

業界情報や事業内容や特長、配当についてわかりやすく解説しています。



▲トップページ

## 株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日 期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日 その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 Tel. 0120-707-843 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL <http://www.general-packer.co.jp/>

### 各種手続きのお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構（ほふり）をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構（ほふり）をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

包装システムのトータルプランナー  
**ゼネラルパッカー株式会社**

●本社・工場  
〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地  
Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222  
●東京営業部  
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 神田木原ビル4F  
Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893

UD  
FONT

ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915

VEGETABLE  
OIL INK